



第2530地区 福島西ロータリークラブ会報

会長 高橋 智弘
幹事 相澤 隆

奉仕プロジェクト委員会委員長 高梨 哲男
会報写真担当 宮崎 秀剛

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

令和4年3月7日(月) 第23回 通算第1617回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第23回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 高橋 智弘 会長
- ◇国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 西形 健吉 会員
- ◇「四つのテスト」唱和
職業奉仕委員会 佐藤 慶行 委員長
- ◇お客様並びにビジター紹介
郡山北ロータリークラブ 中川 秀幸 様



米山記念奨学生 レティトゥ ハーさん

3月誕生祝い



- ・渡辺敬藏 会員 昭和21年3月14日生
- ・寺島英樹 会員 昭和40年3月22日生

- ◇3月分米山記念奨学金給付
米山記念奨学生 レティトゥ ハーさん



- ◇会長あいさつ 高橋 智弘 会長



皆さん、こんにちは。今月は水と衛生月間であります。それに因んで今月のロータリーの友に阿久津肇バスターガバナーの記事が載っていましたので、後で宮崎会員が紹介すると思いますが、お話をさせて頂きます。私が西クラブに入る前は、猪苗代湖で水草回収活動をしていたことはお聞きしたことがあったのですが、細かい内容は知りませんでした。元々は阿久津肇バスターガバナーが、2002-03年度ガバナーの時に、阿武隈川の水質汚染に関して、地区大会で「ふる里の水をきれいにするために」というシンポジウムを開催したところから始まっていることを知りました。2003年に第2530地区の36クラブと宮城の4クラブの賛同を得て、水質浄化と水環境の向上を目的とした「あぶくま清流協議会」が立ち上がりました。活動が進むにつれて、阿武隈川の水質は見違えるように改善し、2010年には協議会も解散しました。その後、水質保全活動として猪苗代湖に焦点を定め、猪苗代RCが事務局となり「ロータリー猪苗代湖水環境協議会」へと活動が引き継がれました。最終的には、2015年に「NPO法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議」にバトンタッチされ、ロータリーの手を離れ、地域の組織として歩んだ経緯がありました。ロータリーが育てた地域の活動が、独り立ちして地域に返し、そこから各クラブが個性を生かして、独自活動として引き継いでいく。今後、このような活動を新たに見つけていければ、

ロータリーの輪ができるのでないかと考えます。

さて、今日は米山記念奨学会生ハーさんのスピーチです。前は時間が足りなくなりましたので、今日はいっぱいお話してください。よろしくお願いいたします。

- ◇幹事報告 相澤 隆 幹事

- 例会変更のお知らせ
・次週14日(月)の例会は県北第一分区分区インターシティミーティング(IM)の振替休会、また、その翌週21日(月)の例会は祝祭日(21日・春分の日)の週のため休会となります。
- その他のお知らせ
・本日例会終了後、当会場にて3月理事会を開催いたします。理事役員の皆様は引き続き出席をお願いいたします。
・12日(土)・13日(日)の2日間、ZoomにてPETSが開催されます。当クラブからは高梨会長エレクトが参加いたします。
・3月ロータリーレートは116円となりますのでお知らせいたします。

委員会報告

- ◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 高梨 哲男 委員長
- 高橋智弘会長=ハーさんのスピーチ楽しみにしています。
- 黒澤信之会員=まん防期間がようやく明けましたね。とはいえ、感染予防には十分気をつけながら、楽しくやっていきましょう。

——レティトゥ ハーさんのスピーチによせて——

- お客様(郡山北RC)中川秀幸様
- 相澤 隆 幹事
- 大平謙一郎 会員
- 齋藤武二 会員
- 佐藤卓立 会員
- 佐藤慶行 会員
- 野尻榮一 会員
- 渡辺敬藏 会員
- 高梨哲男 会員
- 佐藤宗弘 会員
- 寺島英樹 会員

本日のスマイリングBOX集計13件 26,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

- ◇会報・雑誌・広報・IT小委員会報告 宮崎 秀剛 委員長
- ◇「ロータリーの友」3月号紹介
- ◇会員増強委員会より 黒澤 信之 委員長

- ◇本日のプログラム——米山記念奨学生スピーチ②
米山記念奨学生 レティトゥ ハーさん



私は福島大学のレティトゥハーです。福島西ロータリークラブ奨学生になってから1年近く経ちますが、私のことがよく分からない方もいらっしゃると思いますので、今日は、私の特別な体験記についてお話をさせて頂きたいと思っています。

これまで、「青春はなんだろうか?」の問いを自分に聞いたことはありますか?私は、「青春」とは新しく素晴らしい体験をする最も適切な時期だと考えています。そこで私は、今、自分の青春時代を、特別な体験をする時間にして日々楽しんでます。最も特別な体験…それは、日本で住んでいる体験です。母国ではなく他の国で、新しい人に出会い、新しい文化を学び、美しい自然を楽しむことができている今の経験は素晴らしい青春だと感じています。

日本に来てから、岩手県盛岡市で日本語学校に1年半ぐらいい通い、日本語を勉強しながら、アルバイトをしていました。居酒屋さんのキッチンで、初めてのアルバイトでした。そこでの私の主な仕事は、料理を作ったり、仕込みをしたりすることですが、暇な時は皿洗いとキッチンの掃除などもしました。すべての仕事を教えてくれたのはその店の料理長でした。優しい顔とユーモアのセンスがある中年の男性ですが仕事では非常に厳しいです。彼は私にナイフの持ち方や、ネギを素早く刻んで割れないようにする方法や、食べ物を長い時間保存する方法など、最も小さな作業から教えてくれました。しかし、料理長には「教えたことを間違わないでやってください」や

「お客様に出される前に、料理の品質と素敵な並べ方をもう一度確認してください」など注意されたこともあり、その厳しさを通して、仕事では、細心の注意を払う方法を学んだと思っています。また、料理長は仕事だけでなく、人生のことや日本の食文化や日本の方言などのことも教えてくれました。今までの思い出すたびに、いつか、彼にお礼を伝えたいと考えます。機会があれば、ぜひ盛岡に帰って彼を訪問したいと思っています。

次に、私の盛岡での家族も紹介したいです。語学学校に通う際に日本人の保証人になってくれて、まるで娘のように家族として接して頂きとても幸運だと感じました。暇な時、家族と一緒に食事をしたり、遊んだりしました。さらに、着物を着る体験の機会も与えてくれました。そして、去年の10月におばあちゃんの四十九日の法要にも参加させていただきました。いつも応援してくれて、幸せでも悲しい時でも側にいてくれて本当に感謝しています。

そして、今の大学時代にも福島の家族がいると感じています。米山記念奨学生となってからは、毎月の例会やクリスマス夜間例会や新年例会など様々な活動に参加させて頂いております。皆様からは経済的な支援だけでなく、精神的な支援も頂いております。福島西ロータリークラブの皆様が私の家族のようだと感じています。ロータリー米山奨学会の皆様、特に福島西ロータリークラブの皆様には心から感謝しています。

勉強とアルバイトの他には「さんさ踊りの祭」のような日本の伝統的な祭やボランティア活動や山に登ることなどに参加しました。

他には、福島花フォトコンテスト2021冬に参加し、特賞を頂きました。

そして、日本に住んで、毎日、新鮮な空気と美しい四季の自然を楽しむことも素晴らしい経験です。春の自然絵の主な色は満開の桜の白と淡いピンクです。夏が来ると、自然の写真の色は鮮やかになります。それは緑を背景に、熟したさくらんぼや桃や梨などの色々な果実の色です。秋が来ると、その絵の中心のトーンは「温かい」と感じる色です。まさに紅葉(こうよう)の赤色です。冬になると、その絵は雪の色により、真っ白になります。四季の自然絵は非常に鮮やかで美しい絵ではないでしょうか。

以上のことは日本が私にもたらした多くの素晴らしい経験の一つです。日本は私に自分を改善するために間違いをする機会と自分の新しい限界を発見する機会を与えてくれます。母国と家族から離れているので、多くの困難、悲しみ、孤独を味わうこともあります。私が受け取った青春の時間はそれ以上のものだと感じています。

◇閉会点鐘 高橋 智 弘会長
※会報カメラ担当 宮 崎 秀 剛会員



特別な体験記



イチゴ狩りの体験



霊山に登り体験



ベトナム旧正月のパーティーの記念写真 2019



盛岡の家族



着物を着る体験



日本語学校卒業式



あちゃんの四十九日の式



ベトナムフェスティバル



「さんさ踊りの祭」



ふくしま花フォトコンテスト2021冬

RID2530「第40回ライラ研修会」報告

県北第一分区ガバナー補佐 佐藤 宗弘

今年度の第40回ライラ研修会は、新型コロナ感染拡大防止の観点からZoom開催にて33名の研修生とそして多くのロータリアン、並びに地区役員が参加され、総勢70名を超える研修会となりました。

RYLAは、ロータリアンが明日を担う青少年と膝を交えて語らいながら、ロータリーの「超我的奉仕」や「最もよく奉仕するものは最も多く報われる」という理念や、様々な奉仕活動を理解頂き、将来、地域社会でリーダーとなって頂けるような人材に育てるべく、との趣旨で開催しているプログラムです。

当クラブからは石川会員事業所より2名の職員を派遣して頂きました。参加されました皆様と設営に尽力してくれました皆様には本当に感謝申し上げます。

○講演

- 講演Ⅰ 「パフォーマンスを引き出す為にできること」
遊VIVAGYM代表 大内克泰様
- 講演Ⅱ 「ごみ拾いから始まったSDGs」
中テレSDGsアンバサダー 鈴木文健様

* 講師に地域問題に精通したお二人を招聘し、生活に

密着したリアルな問題を題材にしての研修でした。

○ブレイクアウトルーム・グループディスカッション
「SDGsの理念に合致する事業をリーダーとして企画しよう」というテーマのもと、お二人の講演を聞いて、SDGsの理念に合致する事業についての思いを語って頂きました。

* 意見交換のできる相互会話のスタイルで実施されたとはいえ、Zoomによる長時間スケジュールは、さぞ研修生にとって刺激的な時間だったと思います。マスコミヤ世の常識、人に影響された問題意識ではなく、本当の問題の把握と、そこで自分は何ができるのかという「気づき」には、本音の研修を通じてシビアな本質を見る必要があります。

願わくは、研修生全員がこの刺激的な体験を思い出して再度その意味において自分が何を感じ、何を気づいたかを再考して頂けたら望外の幸せというものです。これから皆様のような若い方々が地域のリーダーとなり、福島未来を創っていくことに大きな役割を果たされることを期待しております。

